

# 会 議 録

## 1 会議名

平成28年度 第4回頸城区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### (1) 協議事項（公開）

○平成28年度頸城区地域活動支援事業の採択について

### (2) その他（公開）

## 3 開催日時

平成28年6月15日（水）午後7時30分から午後8時15分まで

## 4 開催場所

頸城コミュニティプラザ 2階 203会議室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：井部辰男（会長）、関川正平（副会長）石野敏、上村闈一、笠原昇治、  
佐野喜治、西巻肇、橋本博太、船木貴幸、望月博、山本光夫、山本誠信、  
横山一雄（委員16人中13人出席）

・事務局：頸城区総合事務所 布施所長、石野次長、石川市民生活・福祉グループ長、  
総務・地域振興グループ藤澤班長、村山主任

（以下グループ長はG長と表記）

## 8 発言の内容

### 【石野次長】

・会議の開催を宣言

### 【井部会長】

・挨拶

### 【石野次長】

・佐藤委員、滝本委員、芳賀委員の欠席を報告

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・会議録の確認：佐野委員、関川委員に依頼

**【井部会長】**

協議事項「平成28年度頸城区地域活動支援事業の採択について」事務局に説明を求める。

**【藤澤班長】**

- ・資料2により説明
- ・資料2「採点結果一覧」の3ページ目、No.3 青少年育成事業の採点辞退者を0人から1人に訂正

**【井部会長】**

点数の高い順から採択協議をしていくことについて委員全員の了承を得る。

順位1位から3位まで順に委員に質疑等を求め、委員全員から異議がなかったので採択することとする。

順位4位「健康増進事業（ファミリーウォーキングとレクリエーション）」について委員に質疑等を求める。

**【橋本委員】**

事業がマンネリ化しているの見直しを行い、参加者が集まるように改善することを付帯意見としてほしい。

**【井部会長】**

付帯意見を付けて採択することについて、委員全員から異議なし。

順位5位について委員に質疑等を求め、委員全員から異議がなかったので採択することとする。

順位6位「冬期区民スポーツ大会開催事業」について委員に質疑等を求める。

**【橋本委員】**

「健康増進事業（ファミリーウォーキングとレクリエーション）」と同様に、予算どおりの参加者が集まるように事業を進めてほしい。

**【井部会長】**

付帯意見を付けて採択することについて、委員全員から異議なし。

順位7位「沖縄教育文化親善交流事業」について委員に質疑等を求める。

**【横山委員】**

百間町地域だけでなく、区内全体に広報をして参加者が集まるようにしてほしい。

**【井部会長】**

事務局を通じて提案団体に意見を伝える。採択について委員全員から異議なし。

順位8位「雁金城跡及び周辺の史跡保存、整備、併せ会員の知識の向上の事業」について委員に質疑等を求める。

**【船木委員】**

研修視察や太鼓の経費については、来年度以降は地域活動支援事業から外してもらいたい。

**【上村委員】**

船木委員と同じで、研修視察については来年度からは地域活動支援事業から外してもらいたい。

頸城区内や浦川原区には太鼓の活動をしている団体があるので、他団体と共有をして知識の向上を図っていただきたい。

狼煙を上げる場所は整備されているが、本丸はかなり荒れている。今後外部に発信していく時に指摘を受けるのではないかと思うので、提案団体にその旨を伝えてほしい。

**【井部会長】**

今後研修視察のあり方については検証してもらい、検証結果について報告書の提出を求めることでいかがか。文案については整理させていただき、付帯意見を付けて採択することでいかがか。

**【横山委員】**

太鼓の購入については減額をしたいと思うがいかがか。年2回程度しか使用しないのであれば、浦川原区の団体などと連携をとって太鼓を借りればよいのではないか。

**【船木委員】**

横山委員と同じで太鼓の購入については減額してほしい。

**【井部会長】**

委員に意見等を求める。

**【上村委員】**

減額をしていただきたい。

**【井部会長】**

減額したことによって提案団体が事業として成り立たないと判断するかもしれないので、事前に提案団体に確認をとらなければならない。

**【上村委員】**

要項を見ると、太鼓がなければ事業を実施することができないという判断は地域協議会ではできない。太鼓がなくても事業として成り立つと思うので減額してほしい。

**【井部会長】**

プレゼンテーションではホラ貝に替えて太鼓で合図をするということであったので減額をしても事業として成り立つとは思いますが、事務局はどのように考えるか。

**【藤澤班長】**

提案団体に確認していないので分からない。この時点で事務局では判断できない。

**【笠原委員】**

太鼓の減額については賛成である。研修視察に飲食を伴うものがあるのであれば問題である。研修視察の内容を検討してそれも含めて減額してほしい。

**【藤澤班長】**

飲食は含まれていない。事業の対象にしているのはバス借り上げ料の3分の1の6万円のみである。

**【井部会長】**

太鼓はホラ貝の代わりに合図に使用するという説明であった。そのようであれば、減額をしても事業として成り立つという判断はできる。提案団体に確認はしていないが、委員の意見をもとに決定したい。

**【山本光夫委員】**

笠原委員と同様で視察研修費が高額すぎるのではないかと。個人負担はどのように考えているのか。

**【井部会長】**

収支計画書を見ると収入の部で会費を1人あたり2万5千円徴収して、バス代を補助対象としている。事業全体の流れとして太鼓が必要なのかということについては意見がある。

委員から意見を聞き、全補助額と見比べて太鼓購入費24万7千円を減額するとなれば、順位9位の「くびき百間茶屋おもてなしたい事業」に10万円充当されて残額

が出てくる。順位10位「頸城区の環境整備事業」が補助額10万円で事業実施が可能かを確認しなければならない。また、仮に10万円が残った場合に2次募集をするかというところまで論議が必要になる。順位8位の提案団体が事業実施できるかどうかの確認も含めて今日ここで採択ということに相成らない。

**【上村委員】**

相手もあることであるから採択は保留としてはどうか。

**【井部会長】**

太鼓の購入費については減額するというので、委員の異議がなければ提案団体に事業実施の可否について事務局で確認をとる。今日の採択には相成らない。そのような取扱いで次回に延期することでよいか。

太鼓の購入費を減額することについて、委員全員の了承を得る。

順位9位「くびき百間茶屋おもてなしたい事業」について委員に質疑等を求める。

**【上村委員】**

第三者の固定資産に手を入れる事業であるので、契約がどのようになっているのか提案団体に問いただしていただきたい。これまでに実績のない方々がどのようにうまくやってくれるのかというところを掘り下げてほしい。希望館にもこれに近い施設があるので、この場所でやればかなり減額にできるのではないか。

**【笠原委員】**

これだけの経費をかけて活気をつけることに結び付けられるのか先々の不安がある。実体のない中で夢を語って、それが通ってしまうというのが個人的には納得できない。公の施設の利用も含めて検討してほしい。

**【上村委員】**

この提案を受け付けるにあたって提案団体と事務局でキャッチボールがあったと思うが、何か説明することはあるか。

**【藤澤班長】**

このような事業をやりたいという話があり、地域活動支援事業の説明をした中で頸城区の採択方針、募集要項等の資料を渡して提出のあったものである。不明瞭な単価の修正は求めた。事業費については当初は400万円くらいであったので、相談に来たときよりもかなり少額になっている。

#### 【上村委員】

当初400万円も提案されていたのに事務局とキャッチボールをしてこの金額まで下がったというのは、一委員としてそのような考え方をしても間違えではないと思う。事務局としてこれ以上の努力をしなかったのか。事務局主導型ではないかと言わざるを得ない。

#### 【藤澤班長】

最終的に提出されたものが全てである。当初の提案は夢みたいなものであったので、それを現実的なものにしてはどうかという話しはした。事業費をいくらにしてくださいという話しは一切していない。

#### 【井部会長】

事務局でもう一度提案団体に確認をとり、次回の採択に持ち越すことで委員全員の了承を得る。

今回の地域協議会では、順位1位から7位までの提案事業を採択とすることについて委員全員の了承を得る。

順位8位「雁金城跡及び周辺の史跡保存、整備、併せ会員の知識の向上の事業」については、減額をすることについて提案団体と協議をする。順位9位「くびき百間茶屋おもてなしたい事業」については、再度、事務局で事業内容について協議をする。その結果として補助額が順次繰越されてくれば順位10位「頸城区の環境整備事業」の提案団体に事業実施の可否について確認をすることでいかがか。

なお、採点結果が10点以下である「宮本地域住民の安全安心なまちづくり事業」については不採択とする。

以上で協議事項「平成28年度頸城区地域活動支援事業の採択について」を終了し、その他について事務局に求める。

#### 【藤澤班長】

2月に開催した地区別意見交換会の意見一覧表を配布した。地域活動支援事業の審査が一段落したら、新委員を含めて地域の課題等を自主的審議していくことが必要になってくる。部会の開催や研修会の機会を設けるなど、解決策を検討する取組になっていく。

#### 【井部会長】

意見一覧表は一読していただいてこれからの自主審議に生かしていただきたい。今

後、部会での論議も計画していただきたい。

**【石野次長】**

次回の協議会の日程は調整してから連絡する。

**【井部会長】**

その他について委員に求める。

**【笠原委員】**

各町内会に桜の苗木を配布する事業の照会が出ているが、観光協会で申請してもよいか。

**【布施所長】**

緑の募金事業でやっているものであり、木を植えて環境を整備する主旨がある。可能であるかどうかは確認して連絡する。

**【井部会長】**

その他について事務局に求める。

**【布施所長】**

順位1位から7位までの採択事業と不採択の事業については提案団体に通知してよいか。

**【井部会長】**

地域協議会で決定したことであるので、各提案団体に連絡することについて委員全員の了承を得る。

会議の閉会を宣言。

9 問合せ先

頸城区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-530-2311（内線212）

E-mail：[kubiki-ku@city.joetsu.lg.jp](mailto:kubiki-ku@city.joetsu.lg.jp)

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。